

学力向上に向けた取組

函館市立高丘小学校

1. 課題

- 活用する力を育む授業
- 学習集団における表現力、思考力、判断力の育成

2. 課題解決の具体策

- 互いに表現し合い、言語活動を重視した学び合い
 - ・ 教職員全員による研究授業実践の交流

3. 取組の概要

- ◇ 問題解決的な学習の位置づけと算数的活動の充実
- ◇ 言語活動により、意見を交わしながら自分で考えを深める学習の確立

- ・ 研究主題に「算数科における活用力の育成」を入れ、全校体制で取り組む。
- ・ 活用力の前提となる基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着を図るため、T・Tや少人数学習などで、個に応じた指導の充実に努めた。
- ・ 生活との関連を意識した問題提示で問題意識の高まりを図る。
- ・ 各教科で言語活動を盛んにし、自分の考えを自分の言葉でしっかり言える取り組み
- ・ 既習事項や友達のを考えを取り入れ、組み立てて問題に取り組む学習の徹底
- ・ 低学年では、「隣同士」の伝え合いを重視する。
- ・ 高学年では自然発生的なグループによる伝え合いを意図的に仕組むことで、多様な意見交流を活発にさせる
- ・ 「見る、まねる、繰り返す」を大切に扱う
- ・ 具体物を使い、考えを伝える機会を逃さず、時間の保証をする。
- ・ 試行錯誤やほどよい苦勞を認め、大切にす。

4. 成果と課題

- 児童アンケートから算数が好きになり、意欲的に学習する傾向がでてきた。
- 児童が問題意識を持ち、互いに自分の考えを出し合い、問題を解決していく力がついてきた。
- 「どんな方法でどんな力を身につけさせたいか」をより明確にしていく必要がある。
- 学力に二極化が現れてきている